

全日中事務局だより

▼第一回理事会で情報交換が行われました。その概要を二回に分けて報告いたします。内容は「県と政令指定都市との関係の在り方」です。

▼理事会の情報交換の席上、県の理事から以下のような発言がありました。

▼県と政令指定都市との関係についての状況や、対応策等お知恵をいただければと思います。本県では、自主自立を図りたいということで、県との関係を見直してほしいという申し入れがあり、ここ二年間ぐらい、作業部会等々設けて幾度も協議を重ねております。

政令市との関係の在り方については、会の最初に直田・前会長からお話がありましたように、「全日中が全国組織であるがゆえに発言力がある」との御確認のもとに、規約に基づいて四七都道府県の連合体とする、要するに県は一つであるという解釈であると思

いますが、私共の県としましても、その全日中のお考えのもと協議を重ねてまいりました。県の中において政令指定都市をどう位置付けるかということについて協議をしていきたいと思います。うスタンスです。つと協議を進めておりまして、規約改正等も含めて関係をつくっていくということ、大分話も煮詰まってきました。

県としましては、全日中のお考えに基づいて、全日中の活動に参加して、少しでも貢献していきたいと考えているところでございます。それで、鋭意努力をし、政令指定都市との関係についてもにしていこうという観点から協議を重ねるところですが、ほかにも政令市との関係で課題がかなりの県があるかと思しますので、うまくいっていることなど、いろいろ御教示いただければ、今後の話のもっていき方とかに参考になりますので、よろしくお願いたします。

▼司会者 政令指定都市がある理事さん、同じような課題があり、何かいい事例がありましたら提供していただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

▼A県です。県と市が円満にたもとを分かってからもう十数年たっています。実は先週も話し合いをしてきたところですが、県と市で連絡協議会という組織を立ち上げて、双方から五名ずつ協議会に参加しています。年三回あります。その中で、覚書というものを交わしています。全日中の総会、明日も市から代議員が二人来ますけれども、いろいろな委員の数等については、学校数で案分して県と市で割り振ったり、いろいろな支援、奨学金であったりですが、市と県との間で学校数に応じて案分して取り決めをしているのかなと思っています。以上です。

▼B県です。私共も、この三、四年ずつ

と、財源が移譲になるという状況が見えた段階で、県の中でいろいろ論議を重ねながら、最終的に、やっぱりオール県で続けていこうということで動きを固めて今年度を迎えています。現在中学校のうち一〇〇校が市ということですので、本当に大きな数が市に集中しております。様々な機関も市に集中しておりますので、今までは市の校長先生方が県のいろいろな組織あるいはリードしていただくような役割を全部担っていたのですが、オール県でということ、今年度から私が市以外で会長を引き受ける形になりました。

子供たちも、転校して隣の町に行くということが当然ありますし、子供にとつては、県で育った子、県の教育を受けた子ということになるので、市と県で施策自体が若干変わるところはあったとしても、みんなが県の子供を育てていこうという姿勢で今取り組ん

でおります。

役員も一部は市の先生方に、お手伝いいただき、中心になっていただきながら、周辺の我々のような地域の者も今後そういった役割を引き受けて、みんなで組織をつくっていきましょう。ただ、政令指定都市の場合はどうしても金銭の部分では二重構造になってしまいますので、会費は納めていただいて、その後、研究費という形で、各地区に少し研究費として分配するのですが、そのときに市には少し多目に分配させていただくことで、市のほうは二重構造にうまく対応していただくということで今動いております。

▼C県理事です。小中学校長会ということで小学校と中学校が一緒で、三区の連合体で平成二十八年度まで進んできました。二十七年、二十八年の二年間をかけて、独立という権限移譲について協議を進めてきました。財源も含めて市と県とは分かれていま

す。完全に独立して、それぞれ別の総会も行い、ふだんの活動も別になっていきます。ただ、進路指導とか、修学旅行は新幹線をとる関係で一緒のほうがいいとか、来年度、地区の中学校長会が市であるのですけれども、これはオール県で皆さんを迎えようということで、必要なときには協力しながらやっています。県と市の代表者が集まって意見交換をする、その中で微調整をしながら進めているということ、活動自体は独立しているんですけども、完全に分かれてというわけはありません。それが今の県の状況です。以上です。

会員訃報

青森市立西中学校長
横山琢士様 五十九歳 五月二十日

謹んでお悔やみ申し上げます、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 松澤 宏尚)